PETER DAVID BETER・音声書簡 第49号

1979年8月27日

テーマ1 ロシアによる中東政策の変容

1 1974年、ベターはニューヨークラジオでパレスチナ人とイスラエル人を議論したことを思い出した。



2 彼はパレスチナ代表を排除するという米国の政策を批判した。



3 1979年3月、エジプトとイスラエルの条約は、この政策をそのまま残したと主張した。



4 二重の秘密闘争がワシントンの指導層を変革したと主張した。



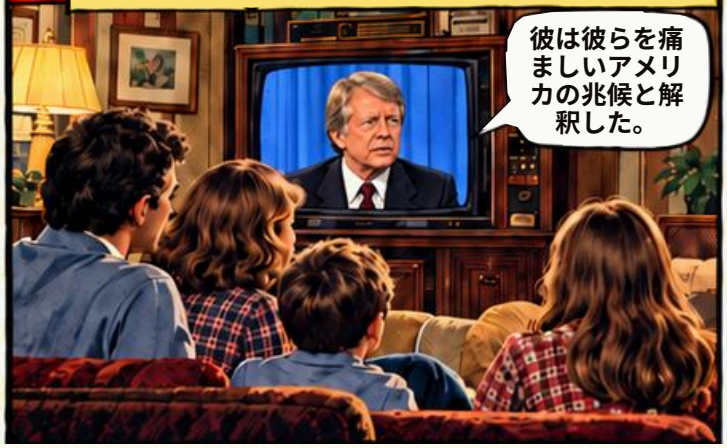
5 彼は秘密の外交シャトルをロシアが制御するロボットに帰した。



6 彼はヴァンス=クライスキー会談をパレスチナの外交的認識と結びつけた。



7 彼はパレスチナの権利を認める公約を強調した。



8 アンドリュー・ヤングの辞任を転換点として扱う。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第49号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第49号

1979年8月27日

テーマ2 アンドリュー・ヤング事件の国内的失態は

1 ベターは、PLO代表ゼーディ・テルジとのヤングの会合に焦点を合わせた。



2 ヤングの辞任と、次の記者会見を思い出した。



3 報道では、監視とイスラエルの否定を主張する報道を引用した。



4 CIAとモサドの秘密合意が破られたと主張した。



5 黒人とユダヤ人の指導者たちとの緊張関係について言及した。



6 彼はヤングとミルトン・ウルフのPLOコンタクトとの間の対比をしていた。



7 彼はパレスチナの権利と平和を求める公民権の声を挙げた。



8 クレムリンが二重にこの事件を仕掛けたことを彼は嘆いている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第49号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第49号

1979年8月27日

テーマ3 ロシアがロスチャイルド世界大国と二面戦争

1 ベターは、新しいキリスト教の支配者がロシアのボリシェヴィキを置き換えたと主張した。



2 バルフォア宣言は戦時中のイギリスの外交と結びついた。



3 彼は1919年にシオニスト国家に反対する著名なアメリカ人ユダヤ人による請願を引用した。



4 彼は市民権に関する彼らの懸念をまとめ、忠誠を分断した。



5 彼は紛争のあった主張と将来の流血の警告を強調した。



6 ボリシェヴィキとシオニストの政治権力を解体しようとモスクワが求めていたと主張した。



7 彼はこれらの動きをロスチャイルド中心の世界制御理論に結びつけた。



8 彼は隠れた力との戦いを予言して締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第49号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。